

68億円の整備と発展へ

令和4年度の当初予算が3月7日から16日までの会期で開かれた議会定例会3月会議で議決され、一般会計と特別会計、企業会計の総予算額は68億9953万3千円となりました。
 一般会計は、46億4200万円で、前年度(令和3年度)と比較して8億2800万円(15.1%)の減額となりました。

主な事業と予算額(注は新規事業)

投資事業

- 史跡保存修理事業(無量光院跡、名勝旧観自在王院庭園) 7437万円
- 高田前団地排水設備整備事業 4827万円
- 町道整備事業(ねずみ沢線、樋の沢大佐線) 4060万円
- 発掘調査事業(町内遺跡群、毛越寺) 3921万円
- 平泉スマートインターチェンジ駐車場トイレ整備事業 3780万円
- 橋梁長寿命化事業 3159万円
- 町道長寿命化事業 2900万円
- 地域企業経営強化支援事業費補助金 2000万円
- 役場非常用発電設備更新事業 1218万円
- 平泉中学校柔剣道場屋根修繕工事 1100万円
- 小型動力ポンプ付積載車更新事業 800万円

一部事務組合等負担金

- 消防事務委託負担金 1億3684万円
- 一関地区広域行政組合負担金(介護保険部門) 1億5135万円
- 一関地区広域行政組合分担金・負担金(環境衛生部門) 1億4774万円
- 給食事務委託負担金 1017万円
- 市町村総合事務組合負担金 577万円
- 岩手県自治会館管理組合設備更新負担金 45万円

主要事業

- 中山間地域等直接支払交付金事業 6828万円
- 学習交流施設指定管理料 5647万円
- 多面的機能支払交付金事業 4911万円
- 医療費助成(重度、こども医療、妊産婦、ひとり親、町単独) 4290万円
- 予防接種事業 3068万円
- 地域経済けん引事業 2472万円
- 住民票等コンビニ交付システム導入事業 2321万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種関連事業 2291万円
- 放課後児童対策事業 1910万円
- がん等の検診事業 1881万円
- まちの元気情報ラジオ配信事業 990万円
- 自治体デジタル化推進事業 671万円
- 妊婦・乳幼児委託健康診査 568万円
- 全国史跡整備市町村協議会大会開催地負担金 500万円
- 地域活力推進事業 500万円
- 東稲山桜情景復活事業 477万円
- 放射線量低減化対策事業 393万円
- 森林経営管理権集積計画作成事業 350万円
- 国際交流員活用事業 240万円
- 移住支援事業 100万円
- 若者向け空き家住宅取得補助金 60万円

町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、4年度末残高見込みは全会計合わせて92億2460万円で、町民1人当たりになると約128万円となります。
 町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

地方債現在高(見込み) (単位：万円)

会計別	令和4年度	令和3年度	比較
一般会計	516,515	536,151	△ 19,636
下水道事業会計	209,581	224,213	△ 14,632
水道事業会計	196,364	182,375	13,989
合計	922,460	942,739	△ 20,279

各会計別総括表 (単位：万円)

会計別	令和4年度	令和3年度	比較
一般会計	464,200	547,000	△ 82,800
国民健康保険特別会計	80,760	82,370	△ 1,610
後期高齢者医療特別会計	9,640	9,130	510
健康福祉交流館特別会計	7,490	7,490	0
町営駐車場特別会計	5,330	5,330	0
下水道事業	3条予算 28,508	29,706	△ 1,198
会計	4条予算 21,128	23,978	△ 2,850
水道事業	3条予算 29,124	28,988	136
会計	4条予算 43,773	48,323	△ 4,550
合計	689,953	782,314	△ 92,361

※単位未満を四捨五入しているため合計などが一致しない場合があります。

一般会計の町民1人当たりの予算額は**645,888円**(748,187円)となります。

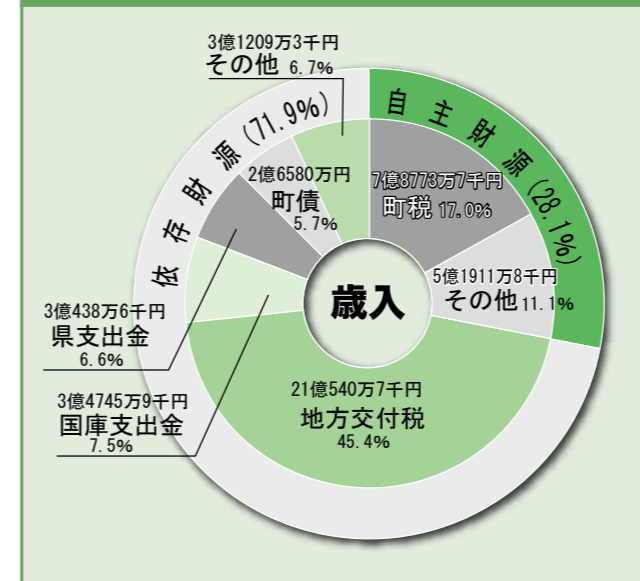
民生費	総務費	教育費	土木費	公債費
154,884円 (150,603円)	98,554円 (83,173円)	95,359円 (213,154円)	69,850円 (55,262円)	67,984円 (64,356円)
衛生費	農林水産業費	消防費	商工費	その他
51,996円 (47,087円)	43,266円 (45,872円)	29,662円 (56,959円)	21,317円 (17,751円)	13,016円 (13,970円)

※令和4年3月1日現在の人口7,187人、()内は前年度の数値、令和3年3月1日現在の人口7,311人でそれぞれ計算(外国人住民を含む)

歳入

歳入を見ると、自主財源では寄附金は増額となるが繰入金の前年度比により、全体で13億685万5千円と、前年度当初比1421万5千円の減額となりました。
 依存財源では、地方交付税、国庫支出金などで増額となるが町債の減額が見込まれ、全体で33億3514万5千円と、前年度当初比8億1378万5千円の減額となりました。

一般会計歳入



歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が11億1314万8千円と最も大きな割合を占めています。次いで、総務費7億831万円、教育費が6億8534万4千円、土木費5億201万円、公債費4億8860万2千円、衛生費3億7369万7千円、農林水産業費3億1095万5千円、以下消防費、商工費と続きます。
 性質別に見ると、投資的経費は、道路改良事業などの普通建設事業が4億912万7千円、

災害復旧事業が355万円と、前年度当初比10億5049万1千円の減額となっております。
 義務的経費については、人件費は一般職の減額により2415万9千円の減、扶助費は児童福祉費の増などにより549万3千円の増、公債費が4億8858万4千円と前年度当初比1809万5千円の増となり、全体で21億5339万4千円と、前年度当初比で57万1千円の減額となりました。

一般会計歳出

